

# コロナ禍、医療・検査拡充を

働くものの団結で生活と権利を守り  
平和と民主主義・中立の日本をめざそう

## 第92回山形県中央メーデー街頭アピール



第92回山形県中央メーデーの街頭アピール行動

第九二回山形県中央メーデーの街頭アピール行動が、五月一日昼山形駅前で行われ、コロナ禍中、医療・検査体制の拡充や雇用、くらしを守るため声を上げ、国や自治体に施策の拡充を求めようと呼びかけられました。コロナ感染拡大防止等の観点から、昨年に続き集会・パレードに代えて実施されたもの。実行委員会を構成する諸団体から約三〇

人が参加し、「コロナ禍だからこそ全国一律・時給一五〇〇円の最低賃金を」「市民と野党の共闘で野党連合政権を」などの横断幕を掲げ、通行人に「いのち署名」（安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名）の協力を求めました。

勝見忍・県労連議長はメーデーをめぐる情勢について、上田潤・県医労連書記長は医療現場の現状と要求を、東海林仁・県教組山形地区支部長は教育現場の現状と少人数学級の実現の必要性を、川田孝子・山商連事務局長は中小業者の現状と要求を、佐藤希・新婦人県本部事務局長はジェンダー



発行責任者 勝見忍  
山形市薬師町2-6-15  
TEL 023(615)2172  
FAX 023(615)2173  
URL: <http://www.yamagataroren.com/>  
Email: [yamagataroren@yahoo.co.jp](mailto:yamagataroren@yahoo.co.jp)

平等について、瀬野幸男・国陪同盟本部事務局長は憲法・民主主義について、それぞれコロナ禍中での切実な声を紹介しながら次々にスピーチ。内容の一部はYouTubeの県労連アカウント（下記QRコード）でも視聴できます。



### 山形学生ユニオンが発足

五月八日山形テルサで行われた発足総会で、山形学生ユニオンが正式に発足しました。学生メンバー五人によるスタート。活動方針と予算を採択し、斎藤稔執行委員長など役員を選出しました。県労連は事務局に東海林良二副議長、佐藤完治事務局局長ら（いずれも議決権なし）を派遣し日常生活をサポートします。六月十二日（土）には山工学部生協二階を会場に「ユニオンカフェ」を計画。ワークショップ形式で「辞めさせてもらえない」「休ませて対処を学びます。総会には勝見忍議長が来賓としてかけつけあいさつ。全労連の黒澤幸一事務局長もオンラインで参加しあいさつし

豪雨義援金、再度県へ  
県労連は五月七日、昨年七月の豪雨災害に対し全労連など全国から寄せられた募金から、山形県に二度目の義援金を届けました。奥山賢・防災見忍議長が目録を手渡ししました。これにより県への義援金総額は二〇万円。他市町村を含め七五万円となりました。



奥山部長に目録を手渡す勝見議長

**ユニオンカフェ**  
アルバイトの権利って？  
ユニオンって？  
免状とバイトの両立はできる？  
バイトをしている子もまだしたことのない子も！！  
みんなと話してみませんか？

**6月12日 14:00 ~**  
at 山工学部生協 2F

**タイムスケジュール**  
14:00 学習会  
講師: 外塚 蘭 氏 (弁護士)  
15:00 ワークショップ  
テーマ1: 「辞めたい」と「休ませたい」とどうする?  
テーマ2: 「学生期間中のアルバイト」とどうする?

**参加申し込み**  
下記連絡先へ  
TEL & FAX 023-615-2172  
右QRコード(山形県労連Twitter) DMへ  
山形学生ユニオン事務局へ  
主催: 山形学生ユニオン  
後援: 山形県労連・山形大学教職員組合

ました。  
昨年十二月五日日の準備会スタート以来、学生メンバーらは三回のオンラインミーティングで主体的な活動について検討してきました。コロナ禍中でバイト先がない、シフトが減らされたなどによる収入減に苦しむ学生の相談にも、法令上の権利や公的給付制度の活用と拡充、学費の減免

学生ユニオンが実施する「ユニオンカフェ」のチラシ

# 9条改憲発議許さない！

## 「9条改憲NO！県民の会」が新聞意見広告、街頭行動

**平和といのちと人権を！**  
 “変えよう政治！いのちを守り、平和をつくろう”



私たちは  
 コロナ禍の中で、ひとり一人のいのちと暮らしを守ることを求めます  
 個人の権利を守り、貧困と差別のない社会をめざします  
 9条改憲発議は許しません  
 政治の私物化を許さず、立憲主義の確立をめざします  
 不戦と民主主義、人権尊重の日本国憲法を守り「戦争法」の廃止を求めます  
 沖縄の民意を踏みにじる辺野古新基地建設の即時中止を求めます  
 東洋の平和と人権の確立をめざします  
 憲法を忠実に守り、平和と人権を擁護し、差別のない社会をめざします  
 思想・表現の自由を守り、監視社会を強化する「共謀罪」の廃止を求めます  
 これらを実現するために行動し、政治の最前線に立ち上がり、政治を変えよう  
 これらの実現に向けて、市民と野党の共同で総選挙に勝利し、政治を変えよう

9条改憲NO！やまがた県民の会

県労連や九条の会、県平和センターなど五〇団体でつくる「九条改憲NO！やまがた県民の会」は憲法記念日の五月三日、昨年と同様にコロナ感染防止のため講演会を行わず、街頭アピール行動に取り組みました。JR山形駅前と山形市七日町の二カ所で、「九条を守りましょう」と署名を呼びかけました。また、同会は五月三日付山形新聞（九面）に意見広告を掲載しました。全面広告で、「平和といのちと人権を！」変えよう政治！いのちを守り、平和をつくろう」とアピールしています。「コロナ禍の中で、・・・個人の尊厳を守り、貧困と差別のない社会をめざします。九条改憲発議は許しません」「不戦と民主主義、人権尊重の日本国憲法を守り『戦争法』の廃止を求めます」「これらの実現に向けて、市民らの実現に向けて、市民と野党の共同で総選挙に勝利し、政治を変えよう」と呼びかけています。

### 5月3日新聞に掲載された意見広告

昨年九月から一〇月に実施した求職者アンケートで「会社都合の離職が自己都合を大きく上回った」と指摘。中でも「希望退職」による離職が大幅に増加したことをあげました。さらに、失業期間の長期化の傾向がみられ、正規雇用がなかなか見つからない状態になっていると述べ、「感染が一段落した昨年のこの時期ですらこうした状況になって

求職者アンケート結果をふまえ、労働局へ要請

求職者アンケート結果をふまえ、労働局へ要請

### 雇用調整助成金特例、縮減せず継続を 求職者アンケート結果をふまえ、労働局へ要請

県労連は五月二日、山形労働局の小森則行局長宛に「コロナ禍の長期化に対応する雇用対策の継続・強化などの要請」を行いました。

勝見忍議長は、金をの特例延長を求めました。また、県内の女性労働者の四七％が非正規雇用で、その七割がパート・アルバイトという実態であり、多くが年収二〇万円以下という状態にコロナ禍が襲い、女性非正規労働者の雇用が深刻化していると訴えました。

労働局は、雇用金特例は六月三〇日まで延長すること、求職者支援制度の収入要件を緩和し活用しやすく

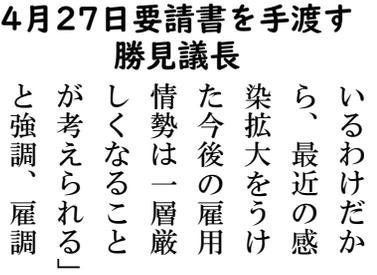


9条守れと呼びかける街頭アピール参加者

山形県発注の指定管理者で山形公共一般組合員 労災認定かちとる使用者SPS「到底納得できない」と驚くべきコメント

やまぎん県民ホールで三月精神疾患による労災認定がなされました。当該使用者は山形県の指定管理者「みんぐるやまがた」構成

企業・サントリーパブリシティーサービス（略称SPS）。契約社員の当該組合員は上司・同僚等らのパワハラ等で通院治療・休業を余儀なくされました。山形公共一般など組合は労災認定を受け賠償、雇用継続、謝罪、関係社員の処分等を求めましたが、同社は「労災支給決定については到底納得できるものでない」と人を病気にしたことについて反省も謝罪もない驚くべき回答。更に団交の席上「信頼関係を回復できないから退職前提の和解を」と、自ら壊した信頼関係の回復努力を放棄し「辞めてくれ」と言う有様です。このままでは同社には関係法令の遵守・再発防止に向けた自浄能力も期待できず、同様の被害の再発は必至と言えます。地方自治法の規程に基づき同社への調査・指示等を再三求める組合に対し、県は、個別の労使関係であること等を理由に要請書受取も拒否し続けています。当該組合員が納得いく早期解決を目指しています。組合はこの件で四月三〇日に記者会見を行い、多くのマスコミが報道しました。



4月27日要請書を手渡す勝見議長

いるわけだから、最近の感染拡大をうけた今後の雇用情勢は一層厳しくなることが考えられる」と強調、雇調金の特例延長を求めました。また、県内の女性労働者の四七％が非正規雇用で、その七割がパート・アルバイトという実態であり、多くが年収二〇万円以下という状態にコロナ禍が襲い、女性非正規労働者の雇用が深刻化している



5月24日要請する勝見議長ら